

南三陸高校図書館利用案内

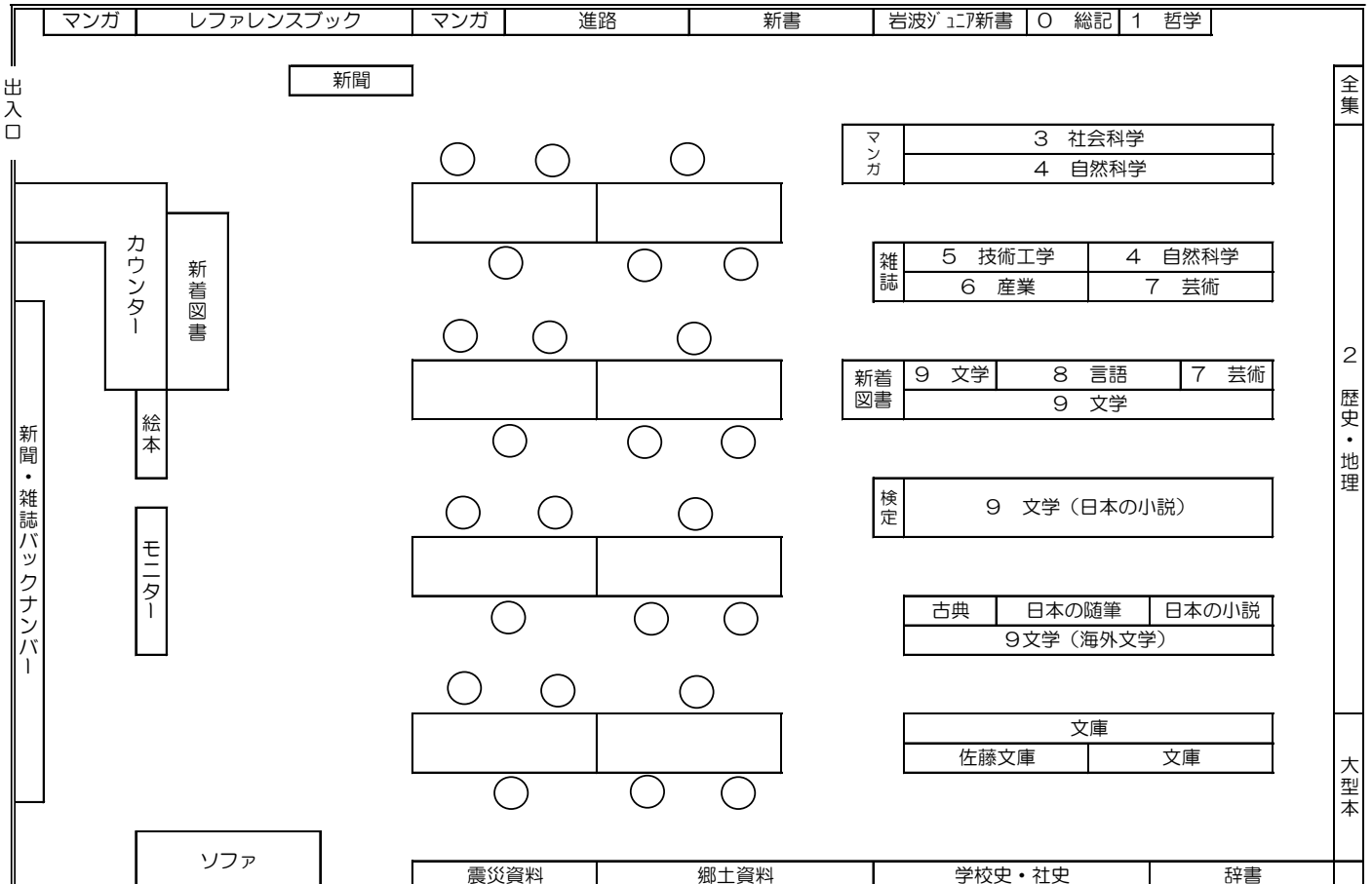
- 開館時間 8:30~16:45
- 貸出冊数 1人5冊まで
- 貸出期間 2週間(延長手続きもできます。)
- 貸出方法
 - ①借りたい本をカウンターに持って行く。
 - ②学年・クラス・氏名を伝える。
 - ③バーコードで読み取り、貸出手続きをしてもらう。
- 返却方法 返す本をカウンターに持って行く。(廊下の返却ボックスでも可。)



QRコードから図書館の本を検索することができます!

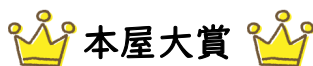


南三陸高校図書館案内図



「全国書店員が選んだ いちばん!売りたい本 2024年本屋大賞」決定!

順位	書名	著者	出版社
大賞	『成瀬は天下を取りに行く』	宮島未奈	新潮社
2位	『水車小屋のネネ』	津村記久子	毎日新聞出版
3位	『存在のすべてを』	塩田武士	朝日新聞出版
4位	『スピノザの診察室』	夏川草介	水鈴社
5位	『レーエンデ国物語』	多崎礼	講談社
6位	『黄色い家』	川上未映子	中央公論新社
7位	『リカバリー・カバヒコ』	青山美智子	光文社
8位	『星を編む』	凧良ゆう	講談社
9位	『放課後ミステリクラブ 金魚の泳ぐプール事件』	知念実希人	ライツ社
10位	『君が手にするはずだった黄金について』	小川哲	新潮社



『成瀬は天下を取りに行く』
著者: 宮島未奈
出版社: 新潮社

中2の夏休みの始まりに、幼なじみの成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るといふのだが……。さらにはM-1に挑み、実験のため坊主頭にし、二百歳まで生きると堂々宣言。今日も全力で我が道を突き進む成瀬から、誰もが目を離せない!話題沸騰、圧巻のデビュー作。

(新潮社HPより引用)

「子ども読書の日」・「こどもの読書週間」のお知らせ



子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)に誕生しました。もともとは5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日~14日)でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)~5月12日に期間を延長し、全国の出版社・書店・図書館等の団体でつくられる「読書推進運動協議会」が運動を進めています。



(公益社団法人 読書推進運動協議会HPより引用)



4月23日~5月12日に本を借りた人に、こどもの読書週間のロゴマークを使ったしおりをプレゼントします☆図書館からたくさん本を借りよう!

こどもの読書週間にちなんで、図書委員による絵本の読み聞かせ会を実施予定です。お楽しみに♪



入学・進級おめでとうございます!図書館担当の吉田です。図書館からみなさんの学校生活をサポートしていきます。1年間どうぞよろしくお願ひします。図書館のことで困ったことがあったら気軽に声をかけて下さい。

